

【土日限定】ふくらはぎ 11 月キャンペーン!

通常 6,480 円
↓
土日 4,500 円



今年も寒い季節がやってきました。そんな寒さに負けない健康な体づくりを応援します。

2017 年 11 月のふくらはぎマッサージ 60 分コース（温熱ドーム 30 分＋ふくらはぎもみ 30 分）を通常 6,480 円と **土日**に限り **4,500 円（税込）**にて、ご提供させていただきます。

今後、土日は院長不在の体制で運営していくことを方針としているため、そのお試し期間として、リーズナブルな価格にてご案内させていただきます。

<こんな方におすすめ>

・ 平日の疲れをすぐに取りたい会社員

ふくらはぎマッサージは、もともと救急医療に使われていた背景もあり、いかに早くリカバリーするかという即効性のニーズにお応えできます。

・ 鍼灸治療を受けている方

実は、当院院長は鍼灸師からふくらはぎマッサージ師に転身しています。両治療法の違いは自分でできるか否か、これが症状改善の度合いに影響します。病気は自分で治すという発想にピンときた方、鍼灸からの乗り換えをぜひお試しください。ふくらはぎ揉みなら、「平日は自力で、休日は他力で」という両パターンが可能です。

・ 足のむくみでお悩みの方

もっと足を細くされたい女性のみなさま、エステの代わりにいかがですか。継続すれば老廃物が消えていき、気がつくとき細くなっていたとご実感できると思います。

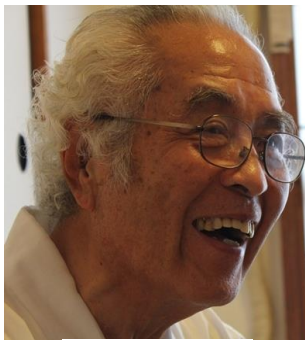
* 重症疾患、専門的なご相談がある方は、院長がいる平日コースをおすすめします。

身心健康堂もいよいよ変革期を迎え、より一層お客様が健康で長生きできるお手伝いをこれからもできればと思います。ぜひこの機会に、ふくらはぎ健康法の底力を体感してみてください。

さてここから先は、ふくらはぎもみの「喜びの体験記」を2つご紹介します。早速、次のページをめくってみてください。

感動の物語として伝えたい！

どんどん治って元気になってゆく感動の声を♪



鬼木代表

いつもフラフラして足どりがおかしい。頭もふらついて重い。考えることがまとまらない。ロレツがまわらず、しゃべり口調がハッキリしない。

ホームドクターは、加齢のせいだと言う。MRIを撮っても原因不明。認知症の前ぶれかも知れない、と不安がつつの毎日でした。

こんなに早く身も心も元気になるとは思っていなかった

— 桜井やす子さん！お早うございます。健康堂のオニキです。

桜井 お早うございます。しばらくごぶさたしております。

— すこぶるお元気そうで何よりです。

桜井 ありがとうございます。毎日元気で暮らしております。先日、満80才になりました。

— そうでしたか、おめでとうございます。お声がハキハキして、若々しく感じますネ。

桜井 ありがとうございます。そう言われるとなんだか嬉しいですネ。こんなに早く身も心も元気になるとは、正直思ってもいませんでしたから。

— 私たちも本当に喜んでいます。そこで本日は、平成28年の4月21日から7月21日までの丁度、3ヶ月間毎週、名古屋から新幹線で、東京お茶の水の身心健康堂まで、通いつづけて元気になってゆかれた感動を、話していただきたいと思って電話しました。

桜井 どこまで話しができるか分かりませんが、元気になった事実を話してみることにします。

— それで結構です。やす子さんが元気になってゆかれる経過を、そのまま感じたまを話していただければいいんです。お一人で東京へ行くことは不安ではなかったですか。

桜井 はじめて東京へ一人で行くことを、主人が心配して許してくれませんでした。何回もお願いしたけどらちがあきません。

「長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい」の本を読めば読むほど、健康堂へ行って施術をしてもらって、直接そのツボを教わりたい！という気持ちがつつのばかりでした。

— よくご主人が、一人で東京へ行くことを許してくれましたネ。

桜井 許すも許さんもなく、気持ちの方がだんだん強くなって、東京行きを決行したんです。新幹線に乗って東京駅に着いたんですが、健康堂までの道順が分からず、それからが大変でした。ほうほうのていでやっとの思いで辿り着いたというわけです。

— そのときのことは、よく覚えておりますヨ。東京駅からもJR御茶ノ水駅からも、何回も電話をいただきましたから。その日はあいにく雨風が強くビショぬれでしたネ。

桜井 大変な思いでやっとなり着いてホッとしました。

— どんな病状、症状だったんですか。

桜井 頭もなんだか重く、考えることがわずらわしい。まとまらない。いつもスッキリしない。足はふらついて足どりがおかしい。言葉はハッキリせず、しゃべり口調がもどかしく、ロレツがまわらない。認知症は、このようにして進んでいくのかなあ、と思っていました。

ホームドクターに診てもらっても、原因は分からないと言うし。MRIを撮っても、原因不明。不安な気持ちがつつの毎日でした。

ふくらはぎもみ療法を自分で、しっかりやれば良くなるかもしれないという思いが強くなって、東京行きを決心したというわけです。

- いま、実際元気になられて、何不自由もなく自立して生活ができるようになられたわけですから、勇気を出して健康堂へ来たことが、良かったということになりましたネ。その過程を簡単に話してください。

桜井 そんなこんなでやっとの思いで、健康堂の施術ベッドの上に横たわることができました。その前に、院長の榎先生から、ふくらはぎもみ療法について話がありました。

- どんな話だったんですか。そのときの感動だけでも—。

外科では病は治らない、ふくらはぎもみ療法が病人を少なくする

桜井 ふくらはぎもみ療法を発見し確立された石川洋一先生は、有能な外科医であって、メスを捨てられた。それは外科では病気は治せない。ふくらはぎもみ療法は、未病、予防に役立ち、病人を少なくすることができる。という思いでメスを捨てられた。それ以来、ふくらはぎもみ療法一筋に30年以上も取り組まれた。この話にとっても感動しました。

その他、いろいろ話がありましたが、その感動だけは強く脳裏に残っています。

- 私もその石川洋一先生の思いには感動しております。その感動が、石川先生の志を継いで、いまも榎さんと共に協力してやっているわけです。

桜井 それでは、ふくらはぎもみ療法の実際について、話してみたいと思います。

男性の施術師の方が対応してくれることになりました。やさしい感じの人で、ソフトな施術がはじまりました。

- それでは、ご自分の病・症状が変わって、良くなっていく経緯を分かりやすく話をしてくださいませんか。

桜井 最初はふくらはぎを施術してもらいながら、何となくふくらはぎの固さが、ほぐれてゆく感じでした。確か2回か3回目に榎先生の「ふくらはぎもみ実習講座」に参加して、ここで本格的にもみ方が理解できたように思います。

それからは本気になって、家の中でしっかり毎日、自分のふくらはぎを自分でもむようになりました。その日によっては、何回ももむこともあったと思います。

- その結果どうでしたか。

桜井 もめばもむほど、ふくらはぎがほぐれていくような感じでした。それにつれて少しずつ体の具合がよくなってゆくような気持でした。そうすると人は、ますます本気になって一生懸命になるものです。

私の場合は実習講座に参加して、金スマに登場された榎先生のふくらはぎもみの指導（VTR）、実習講座参加者に特典としていただいた石川先生のビデオを見ながら、ふくらはぎもみの実習をやったことが、よかったと思います。ここで、ふくらはぎもみ療法の理論と実技を学ぶことができました。

このころから面白いというか、東京へ行くことが楽しゅうて！楽しゅうて！生きがいのようになってゆきました。

今ではありがたいことに、私は料理もちゃんとできるし、気功もはじめました。すべてが元の元気なときに戻ったような気でいます。本当に良かったと思います。

— よくわかりました、元気になられた様子が。お忙しいところ、ありがとうございました。
ますます自分療法に励んでください。健康長寿でご主人と共に元気で長生きしてください—。

<解説>多くの体験者の中から、桜井やす子さんの体験ほど、自分療法にふさわしい体験はありません。対症療法の西洋医術を施したら、どのような結果になったのでしょうか。

日常の『ふくらはぎもみ自分療法』で症状を改善！

I・Tさんのふくらはぎ体験記 (55歳 男性 高校教師)

僕が初めて身心健康堂を訪れたのは、平成28年3月6日(日)のことでした。この日の午後からのふくらはぎ実習講座(4時間コース)に参加するためでした。

何故参加しようと思ったのかと申しますと、心臓にもともと持病があり(心不全及び心房細動)、また母が私と同じ病名の心不全で、前の年の平成27年1月に亡くなったというショックも重なって、このまま病院のお薬だけで良くなるのだろうかという漠然とした不安を抱えていたからです。

実は母の死よりさかのぼること1年前の平成26年5月に父は急性白血病を患い86歳で他界しました。この時お医者様に言われたことは、高齢のため抗がん剤治療はできませんとのことでした。つまり打つ手はないということを知られました。

西洋医術だけを頼っていていいのだろうかという漠然とした不安と限界をうすうす感じはじめたのは、父や母のことが頭の片隅にあったからかもしれません。

ふくらはぎ実習講座に参加して、その理論と原理、そして実技を習得し、さっそく家で実践しました。

最初の2~3ヶ月は一日3~4回(一回につき10分程度)を毎日続けました。やるとそれなりに調子が良くなるので無我夢中でした。

でも正直言って心不全や心房細動が良くなるものかどうか半信半疑でした。

唯一の手がかりは、ふくらはぎ実習講座の際特典として頂いた石川先生が講義されているDVDの中で、石川先生は「特に心臓疾患には効果があります。」と述べられており、その一言が心の支えでした。

ひたすら毎日黙々と続けていても、これで良くなるという確かな確証もなく、ふと不安がよぎることも正直言ってありました。

ただ、ふくらはぎマッサージは時間も場所も取らず、器具を使う訳でもなく、費用もかからない手軽さ便利さが気に入っていただけだったので続けることができたのではないかと思います。

はっきりとした確証もなくそれでも続けているうちに、7ヶ月目に入って突然目に見える効果が少しずつ実感できるようになっていきました。

まず、血圧が高めだったのが正常値(110/80~70)になり、呼吸をするのがらくになりました。また、背中への圧迫感がなくなり、血糖値(A1c)が6.8→6.4に下がり、体重も少し減り始めました。

それまで遅々とした変化に、もう止めてしまおうかという思いに幾度となくかられ、いや待てよというという内なる声との闘いでした。

それが諸々の症状が良くなる時には一気に良くなってゆくことに正直驚きました。

こうした結果を信じてよいものやら確認しなかったため、再度榎先生の治療院をお訪ねして施術

を受けることにしました。

暮れも押し詰った12月25日のことでした。約9か月ぶりの再会でした。

榎先生は僕のふくらはぎをマッサージしながら、随分堅かったふくらはぎが半分ぐらいの硬さに変わりましたよとおっしゃっていただき、さらにこのまま続けたらもっと良くなりますよと確信に満ちた表情でおっしゃられ、自分のやってきたことが間違っていなかったんだとほっと胸おなでおろすととともに、確認できたことで初めて自信が持てました。

お話の中で特に印象に残ったことは、「良くなるスピードはこんなものなんですよ」と一言おっしゃり、ああやっぱりそうなのかと、あせらず腰を据えてやるしかないことを改めて肝に銘じたයි。

状態が目に見えて良くなりだすと、それまでふくらはぎマッサージを1日3~4回が2~3回にと徐々に減らすようになり、それでも体調は少しずつ良くなっていきました。

今年の3月頃には血糖値が正常になり、それまで50段ある階段を一気に登るのはきつかったのですが、息切れすることなく途中で休むこともなく登りきれたのです。一昔前だったらとても考えられないような変化を実感するようになりました。

食事野菜中心に切り替え、心臓に関係するお薬も減らすように心掛けるようになりました。

こうした体で感じる変化が実感でき、あるいは病院の検査結果を目の当たりにすると、ふくらはぎマッサージの効果、そしてその確かさを日に日に感じています。

ふくらはぎマッサージという素晴らしい療法に出合っていなかったら今頃どうなっていたんでしょうね。(笑)

開発者の石川先生は僕の命の恩人と言っても過言ではありません。すでに他界されているので感謝の気持ちをお伝えできないのは残念ですが、身心健康堂の鬼木先生や榎先生がしっかりその意を汲んでふくらはぎマッサージの普及に情熱を傾けて下さっているので心強く、有り難く、感謝の気持ちで一杯です。

これからも油断せずにふくらはぎマッサージを続けてゆくつもりです。

最後までご一読頂きありがとうございました。

身心健康堂 お茶の水